

紫 紺

〈題字〉故 花田 衛先生

2017年3月1日 第27号



発行
熊本学園大学付属中学・
高等学校 同窓会 紫紺会
編集
紫紺会広報・情報委員会

紫紺会事務局
〒862-0971 熊本市中央区大江2-5-1
熊本学園大学付属高等学校内
TEL&FAX 096-371-9333
(毎週火曜・木曜 13時~17時まで)
<http://www.shikonkai.com/>
shikon@lime.plala.or.jp
紫紺会公式facebookオープンしました！
事務局員：上坂 尚子 (19期)

剛 英 知 気 品 知



Contents

同窓会長・高校長あいさつ	2
高校活動報告・前同窓会長あいさつ	3
平成29年度紫紺会総会&新春大同窓会	4~5
紫紺会平成29年度役員一覧	6~7
紫紺会各委員会活動報告	
紫紺会各支部・スポーツOB会活動報告	
各期活動報告ほか	8~11
写真で振り返る紫紺会の一年	12~13
卒業生紹介・「紫紺飲食店マップ」創刊	14
飾馬奉納紫紺会活動報告・平成28年度奉納寄付一覧	15
平成29年度収支予算・事業計画・会費納入のお願い	16

活発な息吹をしぼませることなく、 魅力的な紫紺会を目指して

熊本学園大学付属中学・高校同窓会 紫紺会 会長 榎 主税（14期）

紫紺会の皆様、元気に毎日お過ごしのことと思います。私は今年1月の総会におきまして、木下前会長の後を受け、第13代の会長職を務めさせて頂く事になりました。もとより微力ではございますが、本会の一層の充実発展のため最善を尽くして、この職責を果たす所存です。前会長同様にご協力とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

さて、昨年は4月の熊本地震の発生に際し、甚大な被害を受けた会員の皆様が多くいらつしやつたと思います、お見舞いを申し上げますと共に1日も早い復興を祈念しております。震災直後、紫紺会では緊急役員会を開催し、今後の活動の方向性を話し合いました。結果、このような状態の時こそ行事を自粛するのではなく、会員の皆様の励ます意味でも予定通り行事を遂行しようという結論に達し、木下前会長の強力なリーダーシップのもと各委員会の方々に頑張っていたいただき、ほぼ予定通りの行事を完遂しました。例えば11月の代表幹事会は2年連続で1期の先輩から55期の後輩まで100%の出席を達成し、1月の総会、懇親会でも約500名の参加をいただきました。また、関東、関西、福岡等各支部の活動もだんだんと活発になってきております。特に感じますのは、40期以降の若い期の参加者が増えており、大変嬉しく頼もしく思っています。

今期もこの活発な息吹をしぼませることなく、魅力的な紫紺会を目指して努力してまいります。この会報誌の巻末に行事日程を記載しております。また、紫紺会のホー



ムページも随時更新しておりますので、一読していただいで、多数の参加を期待しております。1つ今年のイベントとして高校の協力を得まして、「母校を訪ねて」を復活させたいと考えています。その時に男性は紫紺の制服、女性はセーラー服を着用して授業を受けていただくという計画です。会員の皆様で制服を寄付いただける方や貸していただける方がおられましたらご連絡いただければ幸いです。また、ベシックな活動としまして、住所不明な会員が約7000名いらつしやいます。紫紺の会報誌を送付出来ない状況ですので、少しでも解明していきたいと考えています。年会費の納入率も低下しておりますので、上昇させる方策を思案していますが、口座振替をお願い出来ればと思っております。何卒ご協力の程お願い致します。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げますと共に、行事にどンドン参加いただき、「紫紺会っていいなあ」と感じていただける存在になればと思っております。お会いできるのを楽しみにしております。

被災を貴重な糧に、より良い教育活動に努めたい

熊本学園大学付属中学・高校 校長 木下 隆雄

紫紺会の皆様、常日頃より本校の教育活動・運営に対し、温かいご理解とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

昨年4月、熊本を襲った未曾有の大地震は深刻な被害をもたらしましたが、会員の皆様方の中にも罹災された方々が多数おられたのではないのでしょうか。衷心よりお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復旧・復興をお祈りします。

そのような苦境下でありながら、紫紺会の皆様より多額の義援金をいただきました。誠にありがとうございます。また、全校生徒のみならず、教職員に対しても紫紺のタオルをいただきました。重ねて御礼申し上げます。

もうすでにご承知とは思いますが、この度の地震では、本校も被災を免れることはできませんでした。校舎棟は新本館も含め、軽微の被害で済みましたが、耐震工事を予定していた体育館の天井の一部が落下してしまいました。現在復旧工事中ですが、工事が順調に進ちよければ、今年の2月までには完了する予定です。

建物の損壊は免れなかったものの、人的被害が無かったことは極めてもの救いでした。学校での日常生活は戻っており、現在生徒たちは多少の制約は受けながらも学業に部活動に頑張っておりますので、どうかご安心下さい。

そんな中、秋には付属高校最大のイベントである「紫紺祭」が予定通り、開催されました。高校の体育館が復旧工事で使用で



きなかったため、例年通りの開催が危ぶまれましたが、学園大学の総合体育館を借りて行われ、例年以上の盛り上がりを見せました。

被災支援のため本校を訪れ、友好を深めた立命館宇治高校が、紫紺祭の時にはスクリーンを通して、応援メッセージを送ってくれ、またプロテニスプレーヤーの錦織圭選手が自筆サイン入りの応援フラッグをプレゼントしてくれるというサプライズもあり、体育館内は大きな感動に包まれました。

紫紺会の皆様、本校もこの度の地震で被災し、皆様方に大変なご心配をかけることになりましたが、私どもはこの被災をむしろ貴重な糧にして、より良い教育活動に努めて参りたいと考えています。どうか皆様方の母校への変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

高校活動報告

【熊本地震】

新年度が始まってすぐに未曾有の地震に襲われました。4月16日の本震後、担任教員を中心に生徒の安否確認に全力を挙げ、中高とも18日までに全員の安全が確認されました。学園大学14号館が避難所として開放されたことに伴い、高校新校舎も臨時的に避難所として開放し、若手教職員の泊まり込みのボランティアで運営を続け、多い時で100名を超える地域の方が身を寄せられました。また、建物の応急措置を4月19日から5月初旬にかけて完了し、安全に万全を期して5月9日に授業を再開することができました。

施設に関しては体育館を除き、授業に大きな支障が出るような被害はなく、夏休みを短縮することにより、休校期間中の授業の遅れを取り戻しました。ただ体育館は天井の一部が落下して使用不能となり、体育授業、全校集会、部活動等で不便を強いられています。現在修復作業が行われ、どんなに遅くとも、3月の卒業式までには間に合うよう工事が進められています。昨年竣工した高校本館は地震の影響を全く受けませんでした。もし建て替えていなかったら、旧校舎は大規模な被害を受け、学校の機能が麻痺していたの

ではないかと、今思えばゾッとします。校舎建設にあたっては、紫紺会会員の皆様の物心両面にわたる多大なるご支援、ご協力をいただき、改めて心より御礼申しあげます。

【在籍者数】

今年度の在籍者数（4月10日現在）と学級数は、付属中学校が160名・6学級、付属高校が1228名・32クラスです。付属中学を開設し、今年で6年目を迎え、中高一貫1期生が高校3年になりました。彼らの活躍が期待されます。

【進学実績】

平成28年入試では、国公立大学に156名、私立大学に延べ585名が合格しました。国公立大学の合格者数は過去最多であった平成26年の160人に次ぐ人数です。

主な合格大学は、国公立大学では熊本大44名、熊本県立大21名、鹿児島大27名、九州大6名、宮崎大7名、大分大6名、広島大2名、神戸大1名、大阪大1名、横浜国立大2名、東京学芸大1名、筑波大1名、旭川医科大学1名など、また、私立大学では熊本学園大96名、福岡大68名、西南大56名、崇城大42名、立命館大29名、熊本保健科学大17名、日本大15名、法政大7名、青山学院大6

名、東京理科大6名、明治大5名、同志社大5名、慶應義塾大1名、早稲田大1名などでした。

【部活動】

6月に開催された県高校総体では、ボート男子舵手付きクオドルプル、ボート女子舵手付きクオドルプル、ボート男子ダブルスカル、ボート女子シングルスカル、テニス女子団体、体操男子個人総合、体操男子種目別、弓道女子団体が優勝しました。地震の影響でほとんど練習ができなかったにもかかわらず、各部とも例年以上の活躍をみせ、復興に活力を与える躍進が目立ちました。

（文責 末次）



▲一昨年3月に完成した高校の4階建て新校舎

同窓会長の任を終えて

「激動、そして感謝・感謝の2年間でした」

前紫紺会長 木下 顕（11期）



金の贈呈など、同窓生や母校支援につながる活動を通じて忘れられない1年になったと思います。震災をバネに紫紺会の絆がより深まったのではないのでしょうか。

1月28日の通常総会をもちまして、同窓会長の任を無事に終えることができました。この2年間、同窓会や高校関係者の方々には、会の円滑な運営に多大なるご支援とご協力をいただきました。誠にありがとうございました。

退任にあたり一つ、心温まるエピソードを紹介します。今年の2月某日、49期の男子同窓生から地元新聞へ「1月の新春大同窓会に初めて参加しました。先輩たちと『母校愛』を共有でき、懐かしくそして楽しい同窓会デビューでした」との投稿を発見。長年、役員や同窓会長という立場で会の運営に携わってきた人間としては感無量です。この思いを役員メンバーたちと共有でき、心から嬉しく感じています。

私が会長に就任した2015年は、高校の新校舎が完成した記念すべき年でした。高校と連携した新校舎落成イベントや紫紺会関東・関西支部との交流会、同窓婚活パーティーなど、新しい切り口で多彩な事業を実行でき、熊本から全国へ紫紺の輪が大きく広がった1年になったと感じています。しかし、翌2016年は何と云っても、熊本を襲った大地震を抜きには語れない1年になりました。同窓会としては震災直後から役員会議を重ね、飲食店復興激励会の開催や在校生に向けた就学支援

改めてこの2年間で振り返ってみますと、激動の2年間ではありましたが、それ以上に紫紺会役員や会における女房役として私を支えてくれた事務局の上坂尚子さんをはじめとした関係者の皆さまに、感謝・感謝の2年間でした。この思いを胸に刻み、これからも一人の同窓生として、微力ながら会のさらなる発展に貢献していければ幸いです。本当に2年間、ありがとうございました。

新春大同窓会に全国から430人集う

第13代会長に榎主税さん(14期)

「微力ながら会の発展に貢献したい」



全国から同窓生ら430人が出席した新春大同窓会

2017年度の通常総会と新春大同窓会が1月28日、熊本市のホテル日航熊本で開かれました。

総会では任期満了に伴い、第13代会長に14期の榎主税さん(前代表幹事長)を選任し、1期2年務めた木下顕会長は相談役に就きました。

総会後は大同窓会パーティーに移り、全国から同窓生や来賓の先生方を含め430人が出席。はじめに榎会長が「木下前会長の後をしっかり受け継ぎ、会の発展に微力ながら貢献していく所存です。特に所在不明者の解決や3〜4%で推移している年会費の徴収率アップに努めていきたい」と就任の抱負を語り、目黒純一(学)熊本学園理事長の音頭で乾杯に移りました。開宴後は先輩後輩の枠を超えて酒を酌み交わしながら終始にぎやかに

榎主税(えのき・ちから)会長は熊本市出身の60歳。熊本学園大学経済学部卒。79年岩田屋伊勢丹に入社し、売り場の責任者などを務めた。94年退職し同年ソニー生命保険(株)熊本支社(熊本中央区辛島町)入社。課長、副部長を経て2012年部長



会長の任を終え、花束を受け取る木下顕前会長。左は女子プロゴルファーの東菜さん(48期)



役員改選で事業活動委員長に就任した藤本博之さん(左、29期)を紹介する喜讀宣友前委員長(22期)



目黒純一熊本学園理事長



原山公隆副校長



木下隆雄熊本学園大学付属高校長



部活動奨励賞を受賞した
左から
中学校理科部、
国際クラブ、
高校空手部



会場を魅了した高校吹奏楽部による演奏

昨年、藤崎八幡宮
秋季例大祭の担当
期を務めた39期の
同窓生。
英語の田中健一先生
(中央)を囲んで



新年度の事業計画や収支予算案などを審議・承認した通常総会。
役員改選も行った

歓談し、最後は校歌斉唱と原山
公隆副校長による万歳三唱で会
は幕を閉じました。



今年、藤崎八幡宮
秋季例大祭の担当
期を務める40期の
メンバー

当日は40期代以降の若い同
窓生も多く顔をそろえた



会場を盛り上げた
毎年恒例の抽選会
で見事当選した松
本悦子先生(右)



付属高校の先生方も多数出席し
卒業生と交流を深めた



旧交を温める1期生のメンバー



会場前方のスクリーンでは、この1年
における紫紺会の活動を振り返るスラ
イドショーが流された

平成29年度紫紺会役員名簿



副会長
吉村 浩之(19期)



副会長
木村 光男(16期)



副会長
長野 英子(15期)



副会長
平木 邦昭(14期)



会長
榎 主税(14期)



事務局次長
奥村 誠基(33期)



事務局次長
村田 護親(32期)



事務局次長
田尻祐充子(21期)



事務局長
堤 泰之(32期)



副会長
吉川 久美(24期)



代表幹事長
工藤 健悟(14期)



監事
齊藤 誠治(20期)



監事
佐藤 秀敏(11期)



事務局員
上坂 尚子(19期)



事務局次長
檜橋 一玄(34期)



副代表幹事長
志水 和幸(18期)



副代表幹事長
宮本 亘(14期)



副代表幹事長
佐伯 昇治(13期)



副代表幹事長
本田 順治(10期)



副代表幹事長
林 俊晴(8期)



財務副委員長
赤塚 智哉(34期)



財務副委員長
平木 邦昭(14期)



財務委員長
加藤 誠貴(37期)



副代表幹事長
真弓 知也(48期)



副代表幹事長
田上 明裕(29期)



副代表幹事長
寺本 光秀(22期)



広報・情報副委員長
津田 美矩(46期)



広報・情報副委員長
齊藤 弘美(40期)



広報・情報副委員長
宮崎 常(39期)



広報・情報副委員長
佐藤マリア(37期)



広報・情報副委員長
岩本 州司(35期)



広報・情報委員長
大島 栄祐(40期)



事業活動副委員長
日田 美保(29期)



事業活動副委員長
遠山 正光(29期)



事業活動副委員長
出口 浩二(29期)



事業活動副委員長
桃井 隆光(29期)



事業活動副委員長
古閑 正一(24期)



事業活動委員長
藤本 博之(29期)



青年部副委員長
内田 雄也(37期)



青年部副委員長
長野 光洋(30期)



青年部委員長
榎 崇文(40期)



経済同友会委員長
田中 博康(19期)



事業活動副委員長
吉田 徹秀(40期)



事業活動副委員長
中村由紀子(34期)



女性部副委員長
寺尾 舞(40期)



女性部副委員長
戸高公美子(33期)



女性部委員長
西 千都世(21期)



青年部副委員長
道山 明香(42期)



青年部副委員長
嶋村拓二郎(41期)



青年部副委員長
永廣 一晃(39期)



会費納入UPプロジェクト
副委員長
日隈 忍(14期)



会費納入UPプロジェクト
副委員長
岩田 幸二(14期)



会費納入UPプロジェクト
委員長
平木 邦昭(14期)



飾馬奉納副委員長
千々岩慎吾(35期)



飾馬奉納副委員長
原田 佳英(35期)



飾馬奉納委員長
出先 教明(31期)



60周年準備プロジェクト
副委員長
金澤 一弘(15期)



60周年準備プロジェクト
副委員長
長野 英子(15期)



60周年準備プロジェクト
委員長
木村 光男(16期)



所在不明者解決プロジェクト
副委員長
田上 明裕(29期)



所在不明者解決プロジェクト
副委員長
宮本 亘(14期)



所在不明者解決プロジェクト
委員長
工藤 健悟(14期)



本年もどうぞ
よろしくお願ひします!

紫紺会支部・委員会活動報告

紫紺経済同友会

紫紺経済同友会 運営事務局
堤 泰之(32期)

この度の熊本地震において被害にあわれた方々に心からお見舞い申し上げます。紫紺経済同友会でも「新茶屋」にて5月に行われるはずだった総会及び年祝いの会が店舗の被災により延期となり、7月5日に「松屋本館」にて行うこととなりました。また本年幹事学校となつておりました五校経済同友会合同例会は、10月18日にホテル日航熊本で熊本市副市長・高田晋様に講演いただき、例年並108名の参加にて行うことが出来ました。平成29年度は紫紺会及び各支

部との合同で大名刺交換会を行う予定です。当会が益々卒業生の交流と繁栄の助力となるようこれからも努力して参ります。



合同例会にて五校の旗の下で

事業活動委員会

事業活動委員会 委員長
喜讀 宣友(22期)

木下会長の最終年、私としても5年間の集大成として全力で活動するつもりで新春大同窓会を500人以上集めて最高のスタートを切り、日航アソシエッドでの花見の会もそつなくこなし、これからというとき熊本地震によりすべてが吹き飛んでいきました。仕事に追われ同窓会に費やす時間がとれな

くなり、唯々あわただしく時は流れていきました。

おそらく私がこれまで生きてきた中でも特別に早い一年だったと思います。そんな時、委員会メンバーが、特に古閑くんを中心にその後の事業を進めていってくれました。本当にありがたく、頼りに思えました。委員会メンバーや、周りの仲間たちに助けられた一年だったと心から思っております。何もできなかった自分が一年を振り返るのもおこがましく、木下会長には申し訳なく思いますが、周

関東支部

女性部部长 白石 恵子(22期)

28年度は、やはり熊本地震が活動の中心となりました。同窓会に相応しい支援として、母校や後輩の為の義援金を募り、9月に野中支部長が母校に持参しております。また8月に渋谷の『熊本居酒屋・新市街』にて暑気払い会を開催したところ予想を上回る参加者がありました。熊本の食材を肴に熊本の酒を酌み交わし、関東に居るからこそ出来る復興支援について語り合う暑い夜となりました。

他にも、新年会、ゴルフコンペ、隠れ家女子会などの恒例行事や熊本県人会行事への参加を通して、更に同窓生の絆を強めております。活動の詳細はフェイスブックにて公開しておりますので是非ご覧下さい。

■紫紺会関東支部公式ホームページ
http://www.geocities.jp/pcxyd918/sikonkai_kantobranch/



りに感謝、感謝の年でした。新体制で、藤本くんが委員長として更に羽ばたいてくれることを切に願います。皆様、5年間ありがとうございました。

■紫紺会関東支部フェイスブック
<https://www.facebook.com/sikonkanto>



29年度新執行部

支部長 新任 堺 亜流(8期)
幹事長 宮本恭一(12期)
副幹事長 吉若誠二(18期)
事務局局長兼会計 本田光二(18期)
副事務局局長 佐藤研吾(31期)
女性部部长 白石恵子(22期)
監査役 新任 松井 清(7期)



▶29年2月3日に千代田区の都市センターホテルで開催した総会・新年会。来賓5名を含め、44名の参加者で楽しい宴となった

宅建紫紺会

宅建紫紺会会長
前田 年哉(29期)

この度、宅建紫紺会会長に就任しました株式会社愛住宅代表取締役 前田年哉でございます。宅建紫紺会は不動産業、または不動産業に関連した業種に就いている紫紺会会員で構成され、今年29周年を迎える団体でございます。

平成28年熊本地震により被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。「がんばろう熊本！」のローガンのもと、徐々に復興の兆しを見せている熊本県ではございますが、まだまだ時間と労力を要する地域も少なくありません。

宅建紫紺会としましては、会員の連携をより強化して、今後とも熊本県の復興に取り組んで参ります。不動産に関する事で何かお悩みがございましたら、お気軽にご相談くださいませ。

阿蘇南部紫紺会

紫紺会の皆さん、こんにちは。
昨年4月に発生しました、熊本地震においては私たちの南阿蘇も大変な被害にあいました。

考えもしなかった阿蘇大橋の崩落、俵山トンネルの崩壊と南阿蘇の交通網は完全に寸断されました。又、会員の自宅全壊。まだまだ、私たちを取り巻く現状は厳しいままです。

しかし、紫紺会の皆様からの励ましの言葉等を頂き大変感謝しております。

昨年11月5日に年祝い・懇親会を阿蘇庭・山見茶屋(36期堀健太郎)で開催致しました。

6期の馬原孝一会長より、阿蘇の元気はこの南阿蘇からと力強い挨拶を頂きました。

皆様が南阿蘇に足をはこんで頂

御船支部

長野 英子(15期)

平成28年11月24日、熊本地震以来初めての紫紺会御船支部の会を開催しました。というよりも、実は、飲食紫紺会めぐりで、御船町の田代食堂(28期田代誠治さん)とポテト村(3期岡岡先輩)のお店に紫紺会本会から木下会長はじめたくさんの方に来ていただいた開催することができた次第です。第一部は田代食堂で、おすすめの

く事が一番の復興になります。素晴らしい、南阿蘇に遊びに来て下さい。

阿蘇南部紫紺会事務局



青年部委員会

青年部委員長

榎 崇文(40期)

昨年は、広報委員会のメンバーと「飲食店マップ」の最終校正作業を終え、一息ついた直後に熊本地震の前震が襲ってきました。5



年に2回開催している青年部主催のゴルフコンペ

女性部委員会

女性部委員長

西 千都世(21期)

女性部委員会は、昨年もランチを兼ねたセミナーを企画しました。4月の熊本地震で被災された方もいらつしやるので6月の開催は迷っておりましたが、少しでも気分転換になればという思いで開催することにしました。

6月に九州中央リハビリテーション学院での「陶芸教室」、8月には青年部と合同での「ボーリング大会と懇親会」、12月には「クリスマスリース教室」を開催しました。初めて参加される方や家族で参加の方もあり、紫紺の輪が徐々に広がっているようです。

私事ではありますが、熊本地震では紫紺会の先輩後輩にたくさん言い表せない程感謝しています。

と城南CCでゴルフコンペを開催し、長尾謙昌先輩(23期)、高見智喜先輩(37期)がそれぞれ優勝されました。また、前年同様、この参加費の一部を使って、知的障害児施設「大江学園」の子どもたちへお菓子のクリスマスプレゼントを渡しました。

今年は、夏に若手だけのスポーツ大会・交流会を新しく予定していますので、若手からも紫紺会を盛り上げていきましょう。

この紫紺会の良さをたくさんの方に伝えるために今年は違った切り口で活動していきたいと思っております。また、女性部の活動に興味がある方は是非ご連絡ください。

今年も紫紺の輪が広がるよう活動していきますので、ご協力よろしく申し上げます。



12月に開いた「クリスマスリース教室」

学付バドミントン部OB会

学付バドミントン部OB会 会長 宮村 勇一郎(23期)

昨年4月に発生した熊本地震並びに6月豪雨により被害に遭われた皆様に心からお見舞い申し上げます。

昨年1月2日の「初打ち会・懇親会」と3月の「卒業生を囲んだ春の歓送迎会」は例年通り行うことができませんでした。震災以降はその情勢を勘案し「夏期懇親会」と「本郷杯クラブ対抗バドミントン大会」を中止とさせて頂きました。

29年初打ち会は、学園大学の厚意により、例年通り1月2日13時30分から同体育館で開催することが出来ました。当日は、例年以

上に多くのOB・OGの参加を頂き、現役生とペアを組んだ試合も交え楽しく開催しました。

平成31年は全国高校総体が南部九州で開催され、熊本はバドミントン会場となります。OB会としては、本大会出場に向け十分な環境で練習できるように支援して参りたいと考えております。卒業生の皆様におかれましては、何卒ご支援ご協力頂きますようお願い申し上げます。



28年初打ち会

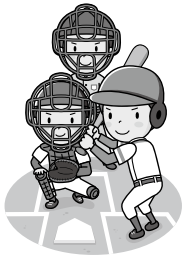
野球部OB会

野球部OB会 事務局長

池本 哲二(31期)

2016年春先に発生した熊本地震は、高校球児にも多大な影響を及ぼしました。毎年連休明けに開催されますNHK旗とRKK旗は中止となりました。なんとか夏の選手権は復旧ままならぬ藤崎台県営野球場にて開催されましたが、とても野球に集中できるような状況ではありませんでした。不完全燃焼に終わるかと思われた56期生の高校野球でしたが、大会初日の済々黉高校戦で全校応援が実現。

雨天中断により4時間を越える熱戦の上、敗れはしたものの次に進める最高の試合となりました。部員一同、当たり前に野球のできる環境に感謝させられる一年となりました。



済々黉高校戦

広報・情報委員会

飲食店マップ完成

HPリニューアルなど活発な1年に

広報・情報委員長 大島 栄祐(40期)

広報・情報委員会では、毎年3月発行の会報「紫紺」の編集、ホームページやフェイスブックの運営を中心に活動しております。2016年は、同窓生が経営するお店を一堂に紹介する「紫紺 飲食店マップ」発行への協力やホームページの全面リニューアルなど、

活発な1年になりました。これらを起点に2017年も全国各地における同窓生同士の交流につながるよう、各種広報活動に努めて参りますので、引き続き、皆さま方のご支援をよろしくお願い致します。



▶ 昨年11月1日に全面リニューアルした紫紺会のホームページ



▶ 日々の同窓会活動の様子を発信している紫紺会のフェイスブック



40期同窓会

飾馬奉納紫紺会40周年の成功に向け、

ベクトル結集!

飾馬奉納紫紺会 第40代隊長 江本 龍洋(40期)

2016年、藤崎八幡宮秋季例大祭の副担当期を経て、今年はいよいよ我々40期が担当期を務めさせていただきます。本年は飾馬奉納紫紺会の結成40周年という節目の年でもあり、祭りの成功へ40期同級生のベクトルを結集していきたいと思えます。

昨年の副担当期では祭り初参加のメンバーもいましたが、「担当期では私たちが紫紺会の先頭に立って祭りを盛り上げていこう」という志を掲げ、去る12月30日にはKKRホテル熊本で4年ぶりとなる40期の大同窓会を開催、年末の多



忙な時期にも関わらず、県内外から多くの同級生が顔をそろえました。同窓会の開催に向けては、各クラスの幹事を中心とする実行委員で、昨年10月より定期的に会議を開きながら出欠確認をはじめ、宴会の流れや記念撮影などについて打ち合わせを進めていきました。同窓会当日は、木下顕紫紺会長や飾馬奉納紫紺会の原田佳英副実行委員長をはじめ、当時の担任の先生にご来賓としてご出席いただき、祭りの成功を誓い、終始にぎやかに歓談することができました。

2017年の祭りまで、あと半

年。「紫紺会の伝統を次世代へ引き継いでいく」という誇りと情熱を持って、例大祭を成功させるべく、40期メンバーで力を尽くして参りますので、皆さま方のご支援を何卒、よろしくお願い申し上げます。

最後に40期のみんなへー同じ学び舎を巣立った高校の同級生で一つのことを形にする貴重な機会です。祭りを大いに楽しみ、成功させ、人生における最高の思い出を作りましょう!



県外3番目の福岡支部が発足!

昨年11月19日、関東、関西に続く県外3番目となる福岡支部が発足しました。発足当日は福岡市内で交流会が開かれ、熊本からも木下顕会長をはじめ多数の同窓生が出席しました。

支部長には29期生の松永尚宏さんが就任し、今後は福岡県内在住の同窓生を中心に年2回程度の交流会が開かれます。福岡では昨年4月に花見の会を開いており、今回の支部発足を機に、さらなる活動の促進が期待されます。ぜひ、福岡在住の同窓生の方々へ一度交流会に参加して、お仕事などでの人脈づくりに役立ててみませんか。詳細は随時、紫紺会のホームページやフェイスブックで告知していきます。



同窓生レポート

つらい時こそ

笑顔で!



藤井有貴子(22期)

熊本地震発災から早10カ月。私が勤務する、熊本市男女共同参画センターはあもにいで、発災直後から性被害やDVの防止啓発、避難所の環境改善のための巡回などに取り組みました。多くのものを一瞬にして失ってしまった、まさかの熊本地震。誰にも災害を止めることはできませんが、自分の身は自分で守るという意識と備えがあればもう少し減災はできたはず。昨年の夏以降、県外で講演させていただく機会も増えました。テーマは「男女共同参画の視点でみる熊本地震」。私たちの被災経験をマイナスのままで終わらせないためにも、一人でも多くの方々に、日頃の備えの大切さを伝え、防災意識を高めてもらいたいと思っています。

「つらい時こそ笑顔で!」新たな熊本の創出を目指して、できることから取り組んでいきます。



最新ニュースは紫紺会のホームページやフェイスブックでご覧いただけます。



10月25日

熊本地震で被災した生徒の支援を目的に同窓生から募集した就学支援金の贈呈式。木下顕会長が木下隆雄校長に支援金を手渡した
(熊本学園大学附属高校校長室)



11月1日

全面リニューアルオープンした紫紺会のホームページ。デザインレイアウトを大幅に変更したほか、職業別データベースなど新しいコンテンツも追加した



11月3日

同窓会活動と婚活イベントのコラボ企画として開いた「紫婚活～母校でフォーリン・ラブ もしかしてPART2～」
(ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ)



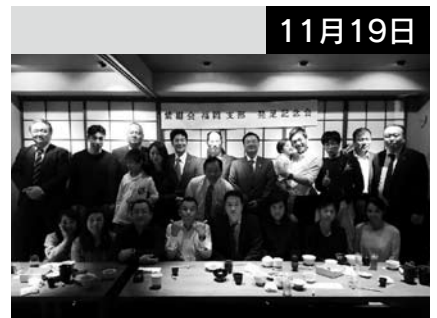
11月5日

年2回開催の恒例行事となった「第6回ゴルフコンペ」。紫紺会初のプロゴルファー・東葵さん(48期)も参加した
(くまもと城南カントリークラブ)



11月11日

前年に続き2回目の開催となった100%代表幹事会。1期から55期までの代表幹事が一堂に顔をそろえ、世代を超えて交流を深めた
(市民会館シアーズホーム夢ホール)



11月19日

県外3番目の支部として発足した「福岡支部」。当日福岡市内で開かれた交流会には熊本からも多数参加し、福岡の同窓生と親睦を深めた(福岡市)



12月6日

木下顕会長の国土交通大臣表彰受賞祝賀会。木下会長が「今後も業界や後継者育成、地域社会のために力を尽くしたい」とあいさつした(ホテル日航熊本)



12月10日

女性部のイベント「クリスマスリース作り」。参加者それぞれが作ったクリスマスリースは自宅に持ち帰り、玄関や窓などに飾った
(熊本市役所裏の花番地2階)



12月15日

紫紺会役員と各期代表幹事の忘年会。最後にはクリスマスプレゼントを交換し合った(松屋本館)

写真で振り返る紫紺会の一年 (平成28年1月～12月)



1月30日

「500人だヨ 全員集合!!」を合言葉に前年の約2倍にあたる過去最高の550人が出席した平成28年度新春大同窓会

(ホテル日航熊本)



4月末

同窓生が経営する県内の飲食店などを一堂に紹介する「紫紺 フードマップ」創刊



5月15日

熊本地震発生直後に急きょ企画された「近況報告会&飲食店復興激励会」。飲食紫紺会の発足記念も兼ねて開催し、各グループに分かれてフードマップに掲載されている飲食店を回った

(ホテル日航熊本～熊本市繁華街)



6月9日

紫紺会のシール発行。同窓生が経営する事業所や飲食店の入り口でよく見かける



6月15日

毎年恒例となった古希(5期)と還暦(14期)の同窓生を祝う「第5回 年祝いの会」

(ANAクラウンプラザ
ホテル熊本ニュースカイ)



8月11日

2016年度新しく企画された「納涼 ボーリング大会」。優勝は10期の本田順治さんでした

(スポーツ熊本)



8月24日

紫紺会6期生の有志が発起人となり開いた「猿渡攻先生の退職を労う会」。猿渡先生は付属高校一筋、在職50年で2016年3月に同校を退職した(ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ)



9月18日

奉納順番19番となった2016年の「藤崎八幡宮秋季例大祭」。悪天候の中、担当期を務めた39期生で記念撮影



9月28日

紫紺会の各地域、職域支部や部活動OBの関係者が集まった「紫紺会支部OB会」

(くまもと県民交流館パレア)

紫紺ズームアップ

～震災復興支援で活躍する同窓生!～

「映像制作・情報拡散で阿蘇を支援」



阿蘇神社復興支援ボランティア

代表 中島 昌彦 (39期)

私が付属高校を卒業してから17年になります。熊本県阿蘇市の中学を卒業し、初めて親元を離れ3年間の寮生活を経験しました。バレーボール部と美術部を掛け持ちし、バンド活動など：やりたいことを存分にやらせてもらったのも「ガクフ」だったからこそだと改めて感謝の気持ちで一杯です。

高校を卒業後、アメリカのカリフォルニア州立大学で映画の勉強をしました。

卒業後は東京で番組制作のADを数年経験し、バラエティやドキュメンタリー、旅番組の中継など様々な番組を担当しました。その後、東京スカイツリー開業時のプロモーションや、NHKスタジオパークの展示映像などを担当させていただき、熊本地震が起きる昨年3月までは日本テレビ系「金曜ロードSHOW!」という番組を3年ほど担当し、スタジオジブリ作品や「ハリポッター」を一挙に放送したりと様々な企画に携わりました。

番組との契約が終了し、2016年4月の頭に一時、熊本・阿蘇の実家に帰郷しているときに熊本地震に遭遇しました。

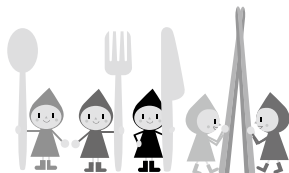
実家はなんとか無事でしたが車で5分もかからない場所にある阿蘇神社が倒壊してしまい、何かできないかと考えていましたが、国の重要指定文化財に指定された社殿は、簡単にボランティアが立ち入れない領域でした。そこで阿蘇神社の「情報配信」を神社側に提案し、今は復旧の様子や地元の方のインタビューを動画配信サイトYouTubeやSNSで配信し、日本全国：そして海外にも支援を呼びかけています。各方面で活躍されている卒業生の方たちと連携を取りながら、引き続き支援を続けていけるよう頑張りたいと思っています。応援よろしく願っています。

同窓生のお店が1冊の本に! 「紫紺 飲食店マップ」 創刊!!

2015年から16年にかけて紫紺会の青年部と広報・情報委員会が中心となって制作していた「紫紺 飲食店マップ」がついに完成しました。

本誌では、同窓生が県下で経営する居酒屋・料亭・レストラン・スナックなど飲食店関係64店舗をエリア別に紹介しています。また、マップの発行に合わせて飲食店オーナーが中心となり、新しい職域支部「飲食紫紺会」を発足し、マップ掲載のお店を巡る「はしご酒大会」を定期的に関開くなど、活発な活動をしています。

仕事やプライベートにおける宴会の際はぜひ、マップを片手に先輩・後輩が経営するお店で、楽しいひと時を過ごしてみませんか?



藤崎八幡宮秋季例大祭

震災を乗り越え、集った紫紺の心粹

紫紺会第39代隊長 嶋村 祐輔

昨年、私は飾馬奉納紫紺会にて「第三十九代隊長」を務めさせていただきました。まずは皆様のお力添えをいただき無事に奉納できたことを、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

二〇一五年秋、私は副隊長としてわずかな同期生と共に藤崎八幡宮秋季例大祭に参加させていただきました。しかし、初めての参加ということもあり、右も左も分からずにただ先輩方の背中を追うばかりでした。特に、隊長を務めていらつした宮本先輩の人望と隊長としての立ち振る舞いを



目の当たりにして、「果たして自分隊長が務まるのだろうか」と不安な気持ちでいっぱいだったことを今でも忘れません。そんな不安を抱きながらも、少数精鋭で供に参加した同期生にも助けられ、無事に例大祭は終わりが私達に翌年の担当期としての務めが引き継がれました。

まず私達が取り組んだことは、担当期になる自分たちの同窓会を成功させことでした。「自分たちがこの祭りを盛り上げていくんだ!」という気持ちで、同期生にも共感してもらいたいという一心で取り組みました。その気持ちで幹事団で手分けして同期生に伝え続けて迎えた二〇一六年、年初め二日に開催した同窓会当日。そこには約七十名もの同級生が集まりました。この調子でいけば祭日当日にはきつとたくさんの方が集まってくれる!、そう喜んだのも束の間、四月の熊本地震の発生。例年の参加団体の辞退が相次ぎ、例大祭の開催も危ぶまれました。そんな中、先輩方から「紫紺会は参加を前提とした動きをしていく」と仰っていたので、私も気持ちを引締め続けて開催の決定を待つことができました。なんと開催が決定したものの、震災の影響

で参加者が集まるか見込みが立たない状況の中、結果として前回の参加人数にあと一歩という、紫紺会の繋がりやの強さを感じる多くの方々に参加していただきました。実際、運営側になり気づく事や悩む事が多く、考えさせられることもたくさんでしたが、今となつては自分にとってプラスになることばかりだったと思います。

最後に、遠方から祭りのために帰ってきてくれた担当期みんな、長い時間を供にしてくれた担当期みんな、本当にありがとう。そして、この素晴らしい「絆」を四十期の後輩に受け継いでもらい、今年も私達以上に素晴らしい祭りを創ってくれることを願っています。



◆平成28年度奉納寄付一覧◆ (敬称略 順不同)

下通繁栄会、ア・スタジオ、燈、オッジ・ミラノ 松野龍也、熊本内科病院、(尙)・ベイクド・ポテト、鳥亭、(尙)ピーカンパニー ブラチナ・ハサラ、ティアモ、15期 島村昌宏、熊本駅構内タクシー 7期 稲葉伸一郎、熊本トヨペット(株) 7期 齊藤直信、東亜シルク(株) 4期 長野和男、(尙)吉田整骨院製薬所、(株)宮食 杉材ケ、上妻亭 13期 上妻利夫、(株)カネムラエコワークス、(株)前田産業 6期 木村洋一郎、高本一臣、紙弘 深浦社長、柴田青果、酒・ガリバー 大塚隆一郎、オーシャンズ7、どないや、ラトゥール、(株)光助 大住、リンクス、明和グループ 11期 川口会長、明和グループ 川口社長、杉野(フレンズ)、リンク、築、山室 昭憲・絢、8期 坂本哲志、(尙)つむぎ屋 8期 前岡 潮、(尙)ファーマダイワ 8期岡山、(尙)鳥井、大日本塗料(株)、九州エネルギー協同管理、ヒガキ塗装、高橋塗装、今村塗装、(株)の丸産業、杉島土地家屋調査士事務所、アロマーニ、入江タクシー 10期 入江栄俊、(尙)相生プランニング 豊原新吾、千場 二郎、RACコーポレーション 山代真貴、11期 渡辺英世、クレパ、(株)newBAUデザイン、木原みのる、11期 伊瀬知 裕、自家焙煎珈琲 しやらん 船元 香、11期 緒方公博、11期 山下令二、山本屋、徳永酒店 15期 徳龍磨、(尙)パワーズ 酒とめし RIKI、15期 家入浩一、15期 富田 伸、ホテルニューオータニ熊本 17期 家入孝夫、17期 岩尾隆一・久富康仙・前田浩一・高見・前田・江上泰弘・松江・岡村・内田、菊陽自動車学校 17期 野上 武、倉しげとおる、企画屋 16期 上村元三、魚幸 18期 都甲憲治、熊本大同青果(株) 18期 月田潔孝、(株)夢工場 16期 徳永雅三、18期 奥名克美、TERAOKA 寺岡岡美、大和田自動車、キャサリンズ's BAR 19期 藤本清美、山本たばこ店、15期 長野英子、19期 上坂尚子、LayLa 福田もと子、トラットリア フェデリコ ヌオーヴォ、アレスト 江頭由佳、寿司・懐石 火の国、こめ&葡萄 22期 八ツ波美和子、(株)木村 16期 木村光男、(株)田自動車 3期 村田誠一、九機工業(株) 6期 梨子木和秀、ドライマティエニ、ひかりタクシーグループ 22期 寺本光秀、ミスJJ 岡村彰子、(株)グッドスタッフ 日野源男、佳山、炭火焼 三笠 16期 田崎伸也、(株)ござき 13期 古崎正敏、27期 鈴木浩二、熊本建物(株)、(株)坂本食糧、熊本旅行(株)、(株)大宏設計事務所 福島正継、(株)魚萬生駒 志垣昌一郎、(尙)小竹組 大堂正人、ラヴィアンローズ、松本司法書士、上林工業(株) 4期 上林節郎、(尙)愛住宅 29期 前田年哉、(株)ニコニコ不動産 34期 山田高文、(尙)みた商事 22期 中林文重、40期 榎 崇文、46期 橋本順司、b-max、30期 平田、(尙)杏仁会 青明病院、6期 中島和夫、瑞鷹(株) 30期 吉村謙太郎、クリーニングのフレンズ 27期 内田貴夫、熊本全日空ホテルユース(紫紺会) 24期古閑、熊本全日空ホテルユース(紫紺会)、JAうき 30期 友枝、スナックいぶき、黒木忍の店、NPO法人 くまもと福祉フードタウン 29期 岡田聡二郎、LOVE GLOSS、(株)タウン開発 30期 前田尚毅、社会福祉法人 博心会 30期 渡邊太郎、ボーラ化粧品熊本中営業所 2期 西村隆一郎、ムロユキ電器 30期 村上隆史、(株)エス・エス・齋藤、(尙)すがコーポレーション 菅 聖、ワタナベ歯科医院 32期 渡邊悟朗、社会福祉法人 環友会、テイク5、(株)マリーゴールド 31期 齊藤潤一、資産総合鑑定株式会社 12期 西川毅彦、QUATTRO 有馬拓郎、31期 池本哲二、31期 安武光輝、ニュー天花 井上、(尙)南栄開発 17期 斉藤 忠、黒木鑑定事務所、Jian 綾部健司、(株)ハイコム 甲斐達也 (au熊本下通店)、31期 米村、31期 永田、(株)ゼネラリスト おしろうしな、(有)ブレイン おはこ平野正樹、銀杏釜めし 5期 藤田 等、スナック このは、メンバーズ ウィンズ、ありさ、ダイキンHVACソリューション九州(株)、(株)キューテック 牧野雄一郎、(株)山代電機製作所 山代峰也、三葉電機工業、プレリウド、ピビッド、メンバーズ英、スナック水沢、(株)ライトアップ、知友会 村上雄一、割烹 本さつみや 岸本竜彦、(株)クリエイティブ・シヨン、29期 鳥井、天野屋書店、(尙)堤酒店、ラ・ベレツツア 19期 上野真樹、(尙)アクティブエレクト、ちゃおず、35期 佐土原 護、36期 佐藤、BORDER、36期 畠山、(株)コスギ不動産 小杉康之、Feliz hair and clothing、39期一同、間林染工場、こだいこラーメン、三駒ビル、丁子屋

名称の誤りの場合はご了承ください

(文責：飾馬奉納委員会)

平成29年度収支予算 平成29年1月1日～平成29年12月31日

科 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	(A)-(B)
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
①基本財産運用収入			
受取利息	1,000	2,000	▲1,000
②受取入金			
入金収入	3,700,000	3,670,000	30,000
③受取会費			
年会費収入	3,000,000	3,000,000	0
④事業収益			
懇親会費(大同窓会)	2,800,000	1,400,000	1,400,000
現役部活激励会(事業活動委員会)	1,000,000	1,000,000	0
事業収入(事業活動)	1,000,000	1,000,000	0
飲食店マップ広告収入	0	500,000	▲500,000
広告収入	200,000	1,000,000	▲800,000
⑤補助金等収入			
受取寄付金	0	0	0
補助金等	0	0	0
事業活動収入計	11,701,000	11,572,000	129,000
2 事業活動支出			
①事業費			
広報・情報委員会	2,400,000	2,050,000	350,000
事業活動委員会	1,600,000	2,300,000	▲700,000
女性部委員会	250,000	250,000	0
青年部委員会	250,000	250,000	0
財務委員会	165,000	165,000	0
飾り馬奉納支援金	100,000	100,000	0
紫紺経済同友会	100,000	100,000	0
クラブ奨励金	300,000	300,000	0
卒業記念品費	600,000	550,000	50,000
特別活動事業費			
会費納入アップ委員会	300,000	0	300,000
所在不明者解決プロジェクト	200,000	0	200,000
60周年準備プロジェクト	100,000	0	100,000
②会議費	1,800,000	1,800,000	0
総会費	1,500,000	1,500,000	0
代表幹事会費	300,000	300,000	0
③管理費	1,900,000	1,700,000	200,000
事務局費	700,000	600,000	100,000
事務局要員費	600,000	600,000	0
学年同窓会開催支援金	100,000	0	100,000
会員名簿委託管理料	20,000	20,000	0
新聞広告印刷費	100,000	100,000	0
旅費交通費	150,000	150,000	0
慶弔費	100,000	100,000	0
雑費	130,000	130,000	0
事業活動支出計	10,065,000	9,565,000	500,000
事業活動収支差額	1,636,000	2,007,000	▲371,000
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2 投資活動支出			
特定資産(指定正味財産)の取得			
奨学金事業引当資産繰入(定期預金)	600,000	1,200,000	▲600,000
記念事業引当資産繰入(定期預金)	500,000	1,000,000	▲500,000
新校舎建設寄付事業引当資産繰入	0	0	0
投資活動支出計	1,100,000	2,200,000	▲1,100,000
投資活動収支差額	▲1,100,000	▲2,200,000	1,100,000
III 財務活動収支の部			
1 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2 財務活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 予備費支出			
予備費	100,000	100,000	0
当期収支差額	436,000	▲293,000	729,000
前期繰越収支差額	7,436,414	8,976,292	▲1,539,878
次期繰越収支差額	7,872,414	8,683,292	▲810,878

紫紺会 平成29年度事業計画(平成29年1月～12月)

月	日	曜	行 事	場 所	時 間	備 考	担 当
12	木		代表幹事会	パレオ会議室	19:00～20:00	新春大同窓会・29年度について	代表幹事会
1	23	土	決算・会計監査			財務委員会	財務委員会
	28	土	講演会:新卒大同窓会 50人+1人(全員集合)	ホテル日航熊本	18:00～21:00	報告:28年度活動報告、決算報告、29年度計画、予算承認 大同窓会、年終のご挨拶、奨励費授与	事業活動委員会
2	9	木	役員会	パレオ会議室	19:00～20:00		事務局
	24	金	学園大付属中学・高校奨励費授与式	ANNフロンティア ホテル熊本・ユースライ	18:30～20:30	28年度の賜れた善行を行った生徒の表彰	経済同友会委員会
3	2	木	紫紺会入会式		15:20～15:50	会報「紫紺」第27号発行	事務局・広報委員会
	9	木	代表幹事会	パレオ会議室	19:00～20:00		代表幹事会
	1	土	第7回ゴルフコンパ・懇親会		8:00～16:00		青年部
	1	土	お花見の会	松屋本館	18:00～20:00	桜お花を見ながらの宴会	事業活動委員会
4			福岡紫紺会花見				事務局
	13	木	役員会	高校会議室	19:00～20:00		事務局
			経済同友会役員会	未定		定例役員会	経済同友会委員会
			紫紺大名刺交換会	未定			経済同友会委員会
5	11	木	代表幹事会	パレオ会議室	19:00～20:00		代表幹事会
			現役部活生激励会	未定			事業活動委員会
			経済同友会総会・年祝いの会	未定	19:00～21:00		経済同友会委員会
			五校合同経済同友会スポーツ例会	未定		幹事校	経済同友会委員会
6	6	火	紫紺会年祝いの会	ANNフロンティア ホテル熊本・ユースライ	19:00～21:00		事業活動委員会
6	8	木	役員会	高校会議室	19:00～20:00		事務局
			関東紫紺会との交流会	未定	18:00～20:00	関東紫紺会との交流を図る	事業活動委員会
			代表幹事会	パレオ会議室	19:00～20:00		代表幹事会
7	13	木	第3回紫紺会はしご酒	中心地	20:30～	代表幹事会后	飲食紫紺会
			紫紺会関西支部との交流会	未定	18:00～20:00	紫紺会関西支部との交流を図る	事業活動委員会
	10	木	役員会	高校会議室	19:00～20:00		事務局
			経済同友会定例会	未定	19:00～21:00		経済同友会委員会
8			飾馬 馬番抽選	藤崎宮			飾馬奉納委員会
			青年部若手スポーツ大会&交流会	未定			青年部
			飾馬 慰問				飾馬奉納委員会
9	14	木	代表幹事会	パレオ会議室	19:00～20:00		代表幹事会
			金 飾り卸				飾馬奉納委員会
			藤崎宮秋季例大祭				飾馬奉納委員会
			女性部事業	未定			女性部
			各支部OB会懇談会・懇親会	未定	19:00～20:00		事務局
10	12	木	役員会	高校会議室	19:00～20:00		事務局
			五校合同経済同友会例会	未定			経済同友会委員会
			第8回ゴルフコンパ・懇親会	未定	8:00～16:00		青年部
			母校を訪ねてagain	未定			事業活動委員会
11	9	木	代表幹事会	パレオ会議室	19:00～20:00	100%代表幹事会	代表幹事会
			第4回紫紺会はしご酒	中心部	20:30～	代表幹事会后	飲食紫紺会
			福岡支部忘年会				事務局
			経済同友会役員会・忘年会	未定			経済同友会委員会
12	7	木	役員・代表幹事忘年会	未定	19:00～21:00		代表幹事会・事務局
			クリスマスプレゼント贈呈式	大江学園		ゴルフチャリティーイベント	青年部

会費納入のお願い

昨年も同窓会活動は活発に展開されました。これも同窓生の皆様によるご協力のたまものと感謝申し上げます。活動には、最低限の資金を必要とし、皆様の会費によって支えられている事をご留意いただき、どうか早めの会費納入をお願いいたします。

- 会 費 3,000円
- 納 期 早目の納入をお願いします。
- 納入方法 同封の郵便振込用紙にてご送金いただくか、下記口座に直接お振込下さい。

【お振込先】

※郵便払込用紙を同封しております。銀行振込の口座番号は下記の通りです。なお、銀行口座引き落としをご利用の方は新たに振込みの必要はありません。

- ・肥後銀行 県庁支店 普通口座 口座番号 1303908
熊本学園大学付属高校紫紺会
- ・熊本銀行 水前寺支店 普通口座 口座番号 0259310
熊本学園大学付属高校紫紺会
- ・熊本第一信用金庫 本店営業部 普通口座 口座番号 946549
熊本学園大学付属中学高等学校同窓会紫紺会

編集後記

同窓会報「紫紺」は今回で第27号の発行となりました。まずもって、会報誌発行にご協力をいただいた同窓会や高校関係者の方々のご協力に心より、感謝申し上げます。さて、この1年を振り返りますと、何といたっても熊本を襲った震災抜きには語れません。広報委員会としても、一生経験することのない震災からの復興・復興に向けた地道な同窓会活動の最前線を日々追いかけて、ホームページやフェイスブックなどで情報発信に力を入れてきました。そして1年間に渡る広報活動の集大成として、今年も会報誌が無事完成に至り、一安心しているところです。第27号は震災復興に尽力された同窓生を紹介する一コマも設けており、特別記念号になったと思います。ネットやSNSなどで多様な情報が飛び交う時代ですが、今後も「同窓生のお役に立てる情報の提供」を念頭に置いた広報活動に努めて参りますので、引き続き、ご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、2017年が紫紺会の皆さま方にとって最良の1年になりますように!! (島)